

### 地域再生計画について



#### ◇地域再生計画とは

・地方公共団体が行う自主的かつ自立的な取組による地域経済の活性化や雇用機会の創出など地域の活力の再生を総合的に推進するため、地域再生法に基づき内閣総理大臣が認定する計画です。

#### ◇古河市が認定されている地域再生計画

No.	計画名	事業内容
1	古河市賑わい創出プロジェクト	デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ
2	地域商社設立による市産品の販路拡大及び地域資源の 磨き上げ・魅力発信事業	デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ
3	古河市まち・ひと・しごと創生推進計画	地方創生応援税制 (企業版ふるさと納税)

# デジ田交付金 地方創生推進タイプの概要



#### ◇デジタル田園都市国家交付金 地方創生推進タイプ とは

- ・地方創生を推進するために、平成28年に創設された交付金(1/2補助)であり、旧地方創生推進交付金。 令和5年度より、デジタル田園都市国家構想交付金に一本化されたため、名称が変更となっている。
- ・地域の実情に応じた地方創生を後押しするため、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの。外部委員による効果検証を行い、適切なPDCAサイクルでの事業実施が求められる。

#### ◇古河市のデジ田交付金 地方創生推進タイプ活用事業

#### 1. 古河市賑わい創出プロジェクト

○期間:令和5年度~令和7年度(3年間)

○概要:

古河市観光協会が法人化したことを契機とし、観光 資源のPRの拡充と既存の観光資源の再整備に着手し、 市の観光振興の推進、総合戦略で掲げる地域産業の魅 力を活かした"呼び込む力"の強化を進め、民間消費の 向上を目指すもの。

- ○総事業費:376,400千円(3年間)
- ○事業内容、効果検証:次項のとおり

# 2. 地域商社設立による市産品の販路拡大及び地域資源の磨き上げ・魅力発信事業

○期間:令和5年度~令和7年度(3年間)

○概要:

古河市地域振興公社に新たに地域商社事業を立ち上げ、地元事業者が販路拡大するための支援(ふるさと納税への参入、観光物販施設での販路拡大)及び本市の魅力ある地域資源や産品の発掘・付加価値の高い商品開発を地元農家や事業者と協働で展開するもの。

○総事業費:32,000千円(3年間)

○事業内容、効果検証:次項のとおり

### 1.古河市賑わい創出プロジェクト【令和5年度(1年目)】





#### ◇事業内容

1年目交付対象事業費:13,000千円

事業内容	○各種イベント開催事業 ○道の駅活性化事業 ○古河公方公園活性化事業 ○ネーブルパーク活性化事業
主な取組	道の駅:ウッドデッキ拡張、大型遊具(ふわふわドーム設置) 公方公園:カキツバタ園整備、花桃植栽 ネーブルパーク:キャンプサイト・BBQエリアプロデュース、パーゴラ設置
事業効果	・市内の観光拠点となってる道の駅と公園に集客力のある施設を整備し、来場者数の 増加を図った。

#### ◇事業効果検証

KPI	事業開始前	R5年度実績	R5年度目標	R6年度目標	R7年度目標
①観光入込客数(千人)	1,550.0	1897.8	1,600.0	1,780.0	1,930.0
②道の駅売上額(千万円)	100.0	112.8	103.0	107.1	112.1

#### ◇分析結果・今後の課題

- ・コロナ禍からの回復もあり、KPIは順調に伸びており、目標を上回る実績であった。
- ・今後各施設の整備施設が充分に活かされるよう、周知やPRの拡充が求められる。

# 1.古河市賑わい創出プロジェクト【令和5年度(1年目)】

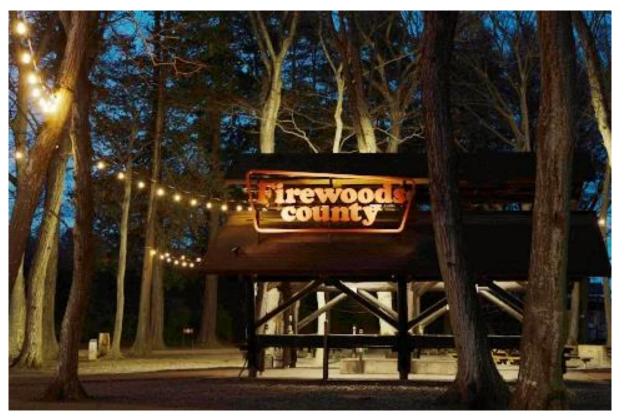




#### ◇道の駅:大型遊具整備(ふわふわドーム)



#### <u>◇ネーブルパーク:BBQエリアプロデュース</u>



### 2.地域商社設立による魅力発信事業【令和5年度(1年目)】





#### ◇事業内容

1年目交付対象事業費:8,000千円

事業内容	○地域商社スタートアップ支援コンサルティング
主な取組	地域の現状分析、経営戦略・アクションプラン策定
事業効果	策定した経営戦略に基づき、地域商社事業として、ふるさと納税返礼品の出品などに着 手し、地域資源の発掘に寄与した。

#### ◇事業効果検証

KPI	事業開始前	R5年度実績	R5年度目標	R6年度目標	R7年度目標
①地域商社事業の売上高(千円)	0.0	3,866.0	5,000.0	25,000.0	75,000.0
②市ふるさと納税事業における地域商社事業が占めるシェア(%)	0.0	0.16	1.0	4.0	10.67
③地域商社事業と連携する 事業者数(社)	0.0	5.0	5.0	25.0	75.0
④地域商社事業で新規開発した 商品数(件)	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0

#### ◇分析結果・今後の課題

- ・地域商社事業に着手したが、商品開発、地域資源の発掘に時間がかかることから、目標未達成である。
- ・スモールスタートとして、まずは施設での物販などに注力し、改善を図る。

# 2.地域商社設立による魅力発信事業【令和5年度(1年目)】 こがくらず





#### ◇公園朝市の様子



#### ◇地域振興公社オリジナル商品



### 3.地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について はない





#### <u>◇概要</u>

#### 企業版ふるさと納税とは

自治体が実施する地方創生事業に対して企業等が寄附を行った場合に、法人関係税の税額が控除される仕組みです。

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



### 3.地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について ※ (55%)





#### <u>◇企業版ふるさと納税額の推移</u>

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金額(万円)	500	660	800
件数(件数)	1	4	19

#### ◇令和5年度充当事業実績

No	事業名	充当額(万円)	No	事業名	充当額(万円)
1	ネーブルパーク整備事業	350	5	未来産業用地開発事業	30
2	浄化槽普及推進事業	220	6	道の駅管理運営事業	20
3	特別支援教育推進事業	90	7	防災対策事業	20
4	若者・子育て世帯定住促進 奨励事業	60	8	男女共同参画推進事業	10

#### ◇分析結果・今後の課題

- ・令和5年度は、マッチング支援委託業務を導入したため、金額・件数が増加した。
- ・今後も、本市の地方創生に資する事業の周知を図り、企業とのマッチングを図っていく。
- ・今年度、制度概要のパンフレットを作成したため、トップセールス等を通じて額の増加を目指す。

# 3.地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について 流気





#### ◇令和6年度企業版ふるさと納税募集事業【抜粋】

No	事業名/取組名
1	学校給食の無償化
2	デジタル技術の活用による市民サービスの充実
3	市民の芸術文化活動の拠点としての文化施設の整備
4	イベントのグレードアップ



